

管理番号	カテゴリ-1：応募	
1-1	質問	複数のシーズを提案してもいいのか？
	回答	1つのシーズ区分に対して、1研究者が応募できるのは1シーズとなります。区分を超えての重複応募は可能となります。ただし、複数採択され場合は、それぞれのシーズのマイルストーンが達成できるようにしてください。また、研究代表者が、別シーズで研究分担者を兼ねることも可能です。
1-2	質問	NCCと外部アカデミアの両機関に所属しているが、どちらから応募すべきか？
	回答	客員・外来研究員等は本務先で応募してください。クロスアポイントなどの場合はどちらから申請しても構いません。
1-3	質問	応募は研究者個人で行うのか、機関ごとにまとめて行うのか？
	回答	橋渡し研究推進センターへの応募については、研究者個人で応募窓口までメールで提出してください。
1-4	質問	【NCC研究者向け】CPOTへの応募時点で、電子決裁システムの研究申請願の提出が必要か？
	回答	今回はNCC-CPOTによるシーズ募集で事前調査の取扱いのため、研究申請願の提出は不要です。
1-5	質問	応募資格は？
	回答	研究代表者は国内の研究機関等に所属し、かつ、主たる研究場所とし、応募に係る研究開発課題について、研究開発実施計画の策定や成果の取りまとめなどの責任を担う研究者ですので、学生は対象になりません。国内の研究機関等に所属する研究者であれば常勤／非常勤での制限はありません。

管理番号	カテゴリ-2：提案書	
2-1	質問	提案書本文に図表は使用できないのか？
	回答	評価者が理解しやすいように図表は適宜使用することは可能です。なお、図表は文字数のカウントに含まれません。
2-2	質問	提案書本文の「研究開発の目的」は字数制限なしで記載し、最後に要点を1,000字以内でまとめるのか？
	回答	目的は提案書に記載されている注意点①～④を踏まえて1,000字以内で記載してください。
2-3	質問	研究開発の内容は概要と本文の他にマイルストーンのような詳細な研究項目も記載するのか？
	回答	概要と本文をそれぞれの字数以内で記載してください。詳細な研究項目を記載する場合も、本文の字数以内で記載してください。
2-4	質問	他制度での助成及び申請状況について、今回の申請の研究内容に関連する他の研究費の申請状況を記載すればよいのか？
	回答	関連研究費の取得状況とともにエフォートが過度になっていないかも判断基準になるため、現在取得している研究費および申請中の研究費を記載してください。

管理番号	カテゴリ-3：PMDA対面助言	
3-1	質問	シーズBとシーズFは「PMDA対面助言の実施」が応募条件となっているが、いつまでに実施すればよいのか？
	回答	AMEDへの応募時にRS戦略相談（PMDA対面助言）が実施され、PMDA作成の議事録が提出できる必要がありますが、対面助言がまだ実施できていない場合、その理由（実用化に向けた戦略等）を記載し、別紙として提出することが必要です。理由の妥当性は評価の対象となります。
3-2	質問	preFとシーズCはPMDA対面助言をいつまでに実施すればよいのか？
	回答	preFは研究期間内に対面助言を実施できればよいこととなっています。シーズCは、支援開始1年後のステージゲート時点において、対面助言が終了している必要があります。

管理番号	カテゴリ-4：関連特許	
4-1	質問	企業シーズは提案できるのか？
	回答	橋渡し研究プログラムの対象が、アカデミアが関連特許出願を目指すまたは関連特許出願済のシーズであるため、企業シーズは対象外です。企業との共同出願のシーズは応募可能です。
4-2	質問	特許出願済は必須か？
	回答	令和4年度の公募要項を参考にすると、preFでは応募時点で特許取得がない場合には、特許戦略上の合理的な理由が必要です。シーズF、シーズBおよびシーズCは特許出願済が必須となります。
4-3	質問	申請するにあたって必要な知財はどのようなものか？
	回答	アカデミアが有する特許となりますが、企業との共同出願は、企業とのマッチングという点で強く推奨されます。
4-4	質問	企業が知財を有しているが、今後の共同研究により関連特許の共同出願の可能性のあるシーズについては応募可能か？
	回答	応募は可能ですが、どのような特許出願を考えているか申請書へ具体的に記載してください。

管理番号	カテゴリ-5：企業連携	
	質問	具体的な連携企業が必要か？

5-1	回答	preFおよびシーズBは、応募時点で具体的な企業がなくても構いませんが、その場合は、支援期間中に企業との連携を行うための詳細な計画を提案書に記載する必要があります。シーズCは、支援開始1年後のステージゲート時点までに連携企業が必要です。シーズFは、応募時点で、連携企業が必要です。
5-2	質問	非臨床POCや臨床POC取得に際し、研究費が足りない場合は？
	回答	企業連携が大事であり、企業と一緒に研究を進めて頂きたい。

管理番号	カテゴリ6：間接経費	
6-1	質問	間接経費はあるか？
	回答	preF、シーズF、シーズB、シーズCについてはAMEDとの契約となるため、研究代表者の機関へ間接経費も配分されます。例) preFの場合は、直接経費のみとして1,000万円/年度が配分されます（間接経費は別に所属機関へ配分されます。）

管理番号	カテゴリ7：シーズ区分	
7-1	質問	シーズBとシーズFの違いは？
	回答	R4年度に「企業へ導出や実用化の可能性が高い研究課題を積極的に支援するためのシーズ枠」としてシーズFが新設されました。シーズFは申請時点で企業との共同提案であることとされています。シーズBは支援期間中に企業連携を計画することとなっています。